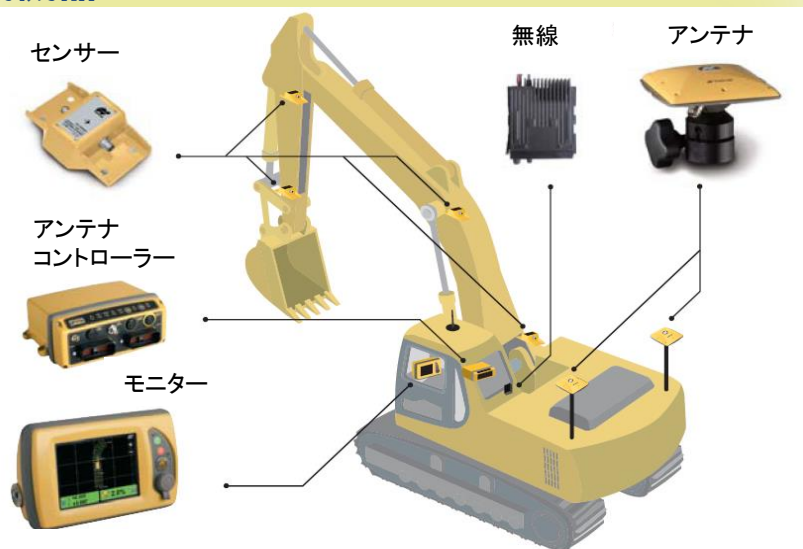


<ICT施工～3Dショベルガイダンス～>

ICTとは、情報通信技術のことで、日本の人口減少や高齢化が進む中、建設業の生産性向上を目指し、国をあげて導入を推進している取り組みです。その中でも、当現場で活用予定の3Dショベルガイダンスについて説明します。

・搭載機器



バックホウに搭載するアンテナが衛星からのデータを受信し、正確な位置を把握して作業します。3次元の設計データをモニターに入力すると、リアルタイムで重機の位置、高さが分かり、設計と実際の施工との誤差がなくなり、正確な工事ができるようになります。

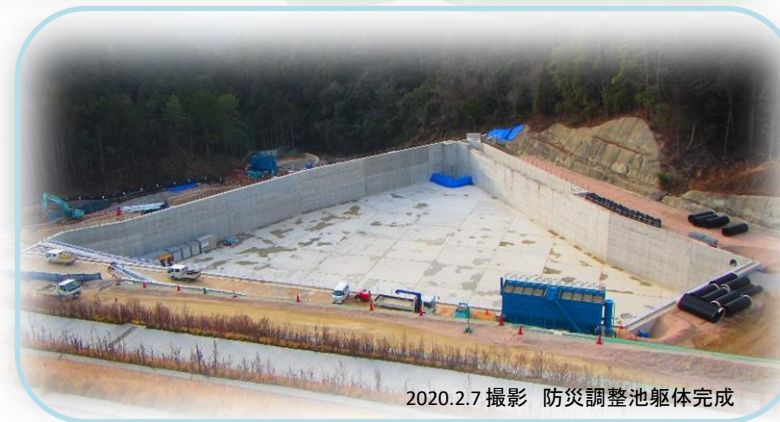
・情報化施工 従来法との比較



衛星からのデータで位置がわかるため、作業の目安となる丁張り設置や作業後の検測が不要になり、工事を迅速に進めることができます。

恵下埋立地(仮称)建設工事 工事だより

第08号
(2020年2月)



2020.2.7 撮影 防災調整池躯体完成

【お問い合わせ先】

施工者：大林・洋林・宮川建設工事JV(発行)
安佐南区沼田町大字阿戸166番地
TEL(082)-830-4007

発注者：広島市環境局施設部
恵下埋立地建設事務所
TEL(082)-923-6011

<工事進捗状況（令和元年5月～令和2年2月）>

<現況と今後の予定>

これまでに、防災調整池、法面工、鉛直遮水工、モニタリングピット工、浸出水処理施設擁壁工などの工事を行いました。
現在は、防災調整池、雨水集排水工、地下水集排水工、放流水路改修工、砂防堰堤工、侵入防止柵工などの工事を進めています。
今後も、濁水の発生、土砂の流出に注意しながら、工事を進めていきます。

①防災調整池



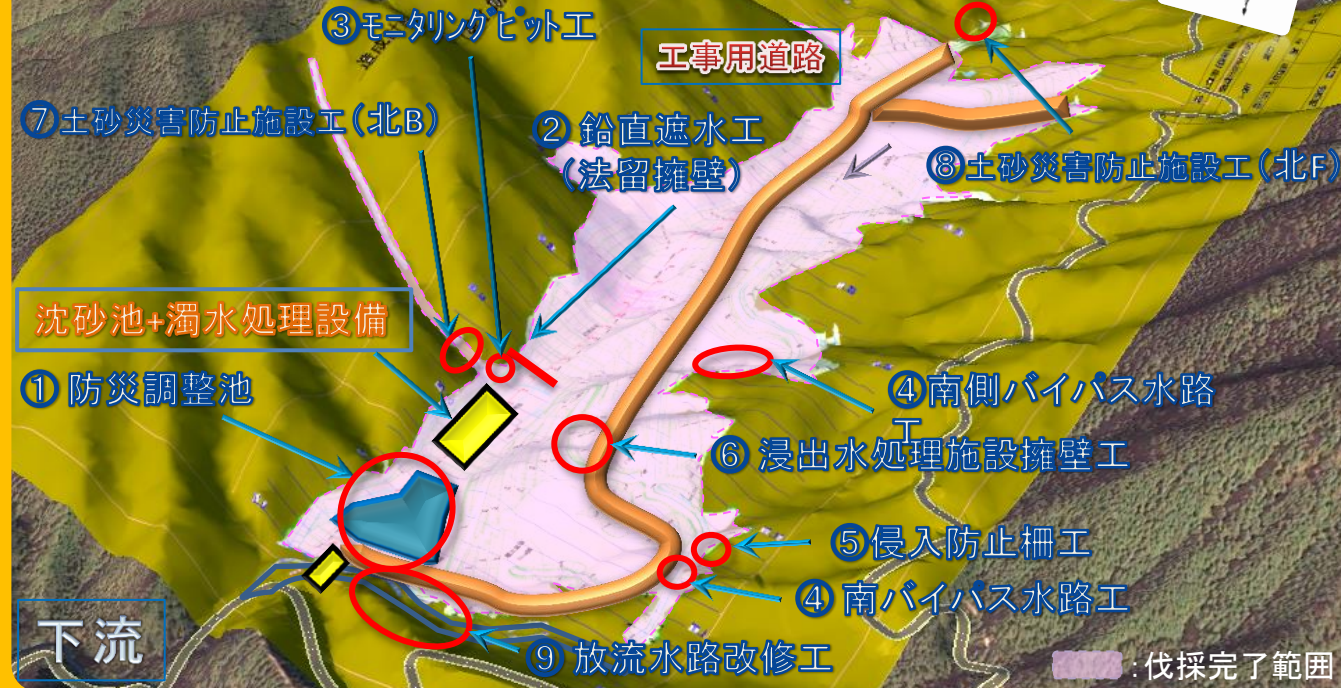
防災調整池躯体が完成しました。

②鉛直遮水工(法留擁壁)



浸出水の流出防止と貯留堰堤の法留の機能を果たす法留擁壁の施工を行いました。

第Ⅰ期造成区域



⑦土砂災害防止施設工（北B）



北B溪流の土石流を防止する堰堤を施工しています。

⑧土砂災害防止施設工（北F）



北F溪流の土石流を防止する堰堤を施工しました。

③モニタリングピット工



地下水に浸出水が混入していないか常時監視する施設を施工しました。

④南側パイパス水路工



南側パイパス水路の施工を行いました。

⑤侵入防止柵工



クレーンを使用して大型水路の据付作業を行っています。



高さ1.5mの侵入防止柵を設置しました。

⑥浸出水処理施設擁壁工



浸出水処理施設の敷地を確保するためにL型擁壁を施工しました。

⑨放流水路改修工



現場下流にある河川の護岸工事を行っています。